



日々初心

市長コラム・日々初心

市長 穂積 志

子育てを考える【母と子の絆】

弥生3月は受験シーズン、今年も悲喜こもこもさまざまなドラマが生まれていることでしょう。

先月の地元紙に感動的な記事を見つけました。母親が、娘の受験に同行した際の話です。パイロットをめざし石川県輪島市の私立航空高校の受験に向かった埼玉県在住の母娘。夜行列車を乗り継いで行く予定が、新潟で大雪に阻まれ列車は運休に。時間が迫る中、駅のホームで両手で顔を覆い泣く娘を前に、「絶対あきらめない」と母は、大雪の中、深夜のヒッチハイクを提案します。

吹雪の国道を2時間歩き、ガソリンスタンドで見つけたトラックの運転手に頼み込みます。話を聞いた運転手は、回り道までして受験場所まで送り届け、着いたのは試験開始10分前。偶然にも作文の課題は「私が感動したこと」で、ヒッチハイクのことと母への感謝を綴り見事合格、という話です。パイロットという夢の実現に向かう娘の純粋な姿と、トラック運

転手の、善意とやさしさに満ちた行為、そして私は何よりも母親が子どもに注ぐ限りない愛情に心を打たれました。

晩婚化、少子化と言われて久しくなります。要因はいくつもあるでしょうが、その一つに、結婚することの喜びや子どもを生み育てることのすばらしさがうまく若い人たちに伝わっていないこともあるのではないのでしょうか。若い人たちが結婚して子どもが欲しい、育てたい」と思える状況になっっていないのではないかと。私たちの世代が親や地域から知らず知らずのうちに学んできた親子のあり方、家族の絆といったことをどこかに置き忘れてきたのでは…。

もとより、私は子育てのことであれこれ立派なことを言うつもりはありません。仕事の忙しさを理由に子育てを妻に任せてきた一面も否定しません。しかし、それでも子育てからなにかが学んできたと思っています。生まれてきた赤ん坊を初めて抱いたとき、「こ



このぬくもりを守りたい

の弱く小さな命をしっかりと育て、守っていかねければ」と思うと同時に、理屈ではない、言葉では言い尽くせない喜びもじわじわと湧いてきたことを鮮明に思い出します。

子育てには、精神的、肉体的、また経済的な負担も伴います。しかし、それ以上に私自身がこの手の中に感じた「小さきもののぬくもり」、それに対する責任と大きな喜びも同時に存在します。要は、それを次の世代に伝えることが大切なのではないでしょうか。

(次回に続く)

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

雄和図書館

読書感想文コンクール

雄和図書館で、河辺・雄和地域の小・中学生を対象に読書感想文コンクールを開催しました。審査の結果、次のみなさんが入選しました(敬称略)。おめでとうございます。

小学校低学年(1年～3年生)の部

最優秀賞▼佐藤安希(川添小)

優秀賞▼進藤愛夏(種平小) 高澤有希(戸米川小) 佐藤大誠(河辺小)

入選▼伊藤愛莉(川添小) 加藤千穂・斉藤未玖(種平小) 設永智慧美・渡邊雄大(戸米川小)

小学校高学年(4年～6年生)の部

最優秀賞▼佐藤希耶(川添小)

優秀賞▼佐藤明(種平小) 三浦舞(河辺小) 佐々木直也(戸島小)

入選▼伊藤雄拓(川添小) 加藤舞雪・酒井桃香(種平小) 佐藤ひろな・種村万亜子(大正寺小)

中学生の部

最優秀賞▼鈴木亜弥(雄和中)

優秀賞▼相場奈月(雄和中) 佐々木勇人・藤原里穂(岩見三内中)

入選▼伊藤かな子(雄和中) 石塚梢・石塚佑・石塚潤・二木愛(岩見三内中)

受賞おめでとう！



佐藤さんは本が大好き！

言葉って大事なんだな

小学校低学年の部 最優秀賞

佐藤安希さん(川添小3年)

本を読むのが大好きで、月に10冊以上読むこともあります。本の中で、交換日記が原因で傷ついた主人公が別の友達との出会いで勇気をもらい強くなる場面が一番心に残りました。自分の気持ちを素直に相手に気持ちを伝えることの大切さを学び、「言葉って大事なんだな」と思いました。

*佐藤さんは「4年1組交換日記はもういらぬ(沢井いづみ作・ポプラ社)」の感想文を書きました。



包括外部監査の結果報告

市立病院を 監査しました



澤田・包括外部監査人

2月12日、平成21年度の包括外部監査を実施した澤田祐治・公認会計士から監査結果の報告がありました。

包括外部監査は、秋田市の財務事務が適正に行われているかを市の組織に属さない独立した立場の監査人がチェックするものです。今回は市立秋田総合病院の財務事務や事業の管理運営について監査が行われました。その中からいくつかの意見・指摘事項をお知らせします。

市立秋田総合病院では、報告された内容を項目ごとに十分検討し、適切に対処していきます。

監査結果のおもな内容

- 一般会計からの繰入金の中に、集中治療室の不採算経費など、総務省の繰出基準に基づく積算例に該当しない繰り入れ(実質赤字補填分)があり、繰入金金の整理・見直しが必要である
- 医薬未収金の調定事務・債権管理、医薬品および診療材料の在庫管理、固定資産の管理などに不備があり、改善が必要である
- 中期経営計画における医薬収益見込みの数値は、期待値ではなくDPC(入院診療報酬の包括支払い方式)などの影響を考慮した数値に改めるなど、改訂が必要と考える
- 医療現場の人材を確保するために、委託業務も含めた全業務内容を見直して人員の過不足を把握し、職種別の目標職員数を定めることが望ましい
- 現在の経営形態は、事務局による医局のけん制機能などが有効に働いていない。地方公営企業法の財務規定を全部適用し、企業管理者を設置することが必要と考える